

課 務 林

I 施策体系

- 森林・林業・林産業施策の転換期を迎えていることを念頭に、3つの政策の柱に沿って、現場視点、市町村や事業体等との連携、多様な情報の適切な発信を意識し、地域の課題を的確に把握しつつ重点的に推進する施策等を明確にして取り組む。

政策の柱		大項目	事業名
総合5 か 年 計 画	1 持続可能で安定した暮らしを守る	地球環境を保全する	拡 ● 木造・木質化支援事業 信州の森林づくり事業（公共・県単） ● ・人工造林・初期保育の向上 ● ・防災・減災のための里山整備 ● ・再造林省力化モデル推進事業 拡 □ 林地残材等有効活用支援事業 拡 木質バイオマス循環利用普及促進事業 特定鳥獣保護管理事業 新 ・ツキノワグマ生息状況調査 野生鳥獣総合管理対策事業 新 ・シカ特別対策等事業 ● ・再造林推進シカ捕獲サポート事業 拡 ・ツキノワグマ総合対策事業 新 ・ツキノワグマ対策専門人材育成支援事業 拡 ・ハンターデビュー支援事業 新 ツキノワグマ被害対策緊急対応事業 ● 地球温暖化防止吸収源対策推進事業 拡 □ SDGs森林の再生発信事業 拡 □ 森林経営管理体制支援事業
		災害に強い県づくりの推進	治山事業（公共・県単・直轄） 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕 ● ・防災・減災のための里山整備〔再掲〕 ● 市町村森林整備支援事業 林業公社事業費 松林健全化推進事業 拡 広葉樹等枯損対策事業
	2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	産業の生産性と県民所得の向上を図る	林道事業（公共・県単） 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕 ● ・人工造林・初期保育の向上〔再掲〕 ● ・再造林省力化モデル推進事業〔再掲〕 野生鳥獣総合管理対策事業〔再掲〕 ● ・再造林推進シカ捕獲サポート事業〔再掲〕 高性能林業機械導入推進事業 林業総合センター試験研究普及費 新 □ 信州の木供給体制整備事業 木材産業循環成長対策事業 優良苗木の安定供給促進事業 拡 □ ・エリートツリー等種子安定供給事業 林業労働力対策事業 ・森林整備担い手育成確保総合対策事業 拡 □ ・信州の森林で働く人材確保推進事業 □ ・林業労働力緊急確保対策事業 □ ・林業労働力活用促進対策事業 拡 ● 多様な林業の担い手確保育成事業 □ 林業大学校運営費 林業就労条件整備促進事業 拡 □ 林業労働災害防止対策事業 □ 持続的な林業経営の確立支援事業 拡 □ 木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業
		人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	拡 ● 木造・木質化支援事業〔再掲〕 拡 ● ・広く県民が利用する施設等の木造・木質化 拡 木質バイオマス循環利用普及促進事業〔再掲〕 □ ウッドチェンジ普及促進支援事業 拡 □ ウッドもっとつなぐ事業 拡 □ ・県産材製品情報収集・解析・発信事業 新 □ 信州の木供給体制整備事業〔再掲〕
		地域に根差した産業を活性化させる	林業労働力対策事業〔再掲〕 拡 □ ・信州の森林で働く人材確保推進事業〔再掲〕 拡 □ 林業労働災害防止対策事業〔再掲〕 拡 □ 木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業〔再掲〕
		住む人も訪れる人も快適な空間をつくる	● 森林サービス産業総合対策事業 ● 開かれた里山の整備・利用推進事業 拡 県営総合射撃場運営事業 戸隠森林植物園・森林学習館管理費 県民の森管理事業 拡 □ スマート林業構築普及事業 □ 森林路網DX推進事業
	4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	働き方改革を推進し、就労支援を強化する	拡 ● 多様な林業の担い手確保育成事業〔再掲〕
	5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる	高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する	□ 林業大学校運営費〔再掲〕

新：新規事業

拡：拡充事業

●：長野県森林づくり県民税活用事業（一部活用含む）

□：森林環境譲与税活用事業（一部活用含む）

Ⅱ 地域の森林・林業の状況及び事業の概要

1 持続可能で安定した暮らしを守る森林づくり

(1) 森林の状況及び適切な森林の管理

ア 森林の状況

- 管内の森林面積は 100,911ha で県全体の 10%を占め、森林率(管内面積に占める森林面積)は 65%で、県全体の 78%より低くなっている。また、民有林の占める割合は 80%で県全体の 65%を上回っている。
- 民有林の人工林のうち、森林整備が必要な 3～12 齢級(11～60 年生)の森林面積は 14,144ha で人工林全体の 38%を占めている。
- 民有林の人工林のうち、主伐期を迎えている 13 齢級(61 年生)以上の森林面積は 22,876ha で人工林全体の 62%を占め、さらにスギが 8,211ha で 36%を占めている。

【市町村別森林面積】

(単位：ha、%)

市町村	区分	森林面積	森林率	国有林面積	内 民 有 林				
					計				
					計	人工林	人工林	天然林	その他
長野市		52,453	62.8	11,043	41,410	18,377	44.4	21,588	1,445
須坂市		10,183	68.0	1,848	8,335	4,608	55.3	3,246	481
千曲市		6,919	57.8	0	6,919	3,579	51.7	3,171	169
坂城町		3,597	67.1	0	3,597	1,537	42.7	1,985	75
小布施町		254	13.3	0	254	59	23.2	173	22
高山村		8,382	85.0	830	7,553	3,384	44.8	3,539	630
信濃町		10,812	72.4	5,557	5,255	2,344	44.6	2,830	81
飯綱町		3,972	53.0	366	3,606	1,700	47.1	1,885	21
小川村		4,339	74.7	84	4,255	1,519	35.7	2,649	87
管内計 (A)		100,911	64.8	19,728	81,182	37,108	45.7	41,067	3,007
構 成 比		100.0		19.5	80.4	36.8		40.7	3.0
長野県	県合計 (B)	1,056,358	77.9	368,291	688,067	334,930	48.7	333,259	19,878
	構 成 比	100.0		34.9	65.1	31.7		31.5	1.9
県に占める割合 (A/B)		9.6		5.4	11.8	11.1		12.3	15.3

出典：長野県民有林の現況（令和 6 年 9 月）

【管内齢級別面積】

(単位：ha)

齢 級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13～	計
人工林	59	28	16	41	101	225	411	737	1,663	2,155	3,205	5,589	22,876	37,108
(割合)	0.2%		38%										62%	100%
スギ	13	1	5	7	17	85	270	585	1,318	1,444	2,094	2,607	8,211	16,659
(割合)	0.08%		51%										49%	100%

出典：長野県民有林の現況（令和 6 年 9 月）

イ 適切な森林の管理

- ☐ 国の事業を活用し、森林組合等が実施する間伐等の森林整備を支援した。
- ☐ 主伐後の再造林を計画的に進めており、令和6年度実績は26.9haとなった。
- ☐ 効率的な森林の施業及び適切な森林の保護を目的とした森林経営計画の認定状況は令和5年度末で10,893haで民有林のカバー率は13.4%となっている。

【信州の森林づくり事業】

(単位：千円)

区 分		事業種類	令和5年度実績		令和6年度実績		前年度比
			事業量	補助金額	事業量	補助金額	
森林環境保全直接支援事業		間伐、保育間伐	134.7 ha	56,035	115.8 ha	52,812	94.2%
		更新伐	24.1 ha	10,800	9.9 ha	4,750	44.0%
		地拵え	17.0 ha	4,365	26.6 ha	9,888	226.5%
		植栽	20.4 ha	21,118	26.9 ha	29,887	141.5%
		下刈り等	35.4 ha	6,695	60.4 ha	13,378	199.8%
		森林作業道	12,694 m	22,322	13,661 m	24,865	111.4%
		小 計	231.6 ha 12,694 m	121,334	239.5 ha 13,661 m	135,583	111.7%
みんなで 支える 里山整備 事業	防災・減災のた めの森林整備	保育間伐	16.7 ha	5,131	5.3 ha	1,774	34.6%
		間伐	—	—	38.9 ha	23,206	—
		森林作業道	—	—	3,708 m	11,211	—
	開かれた里山の 整備事業	地拵え	—	—	—	—	—
		植栽	—	—	—	—	—
		下刈り等	1.7 ha	378	—	—	—
		小 計	18.4 ha 0 m	5,509	44.2 ha 3,708 m	36,191	656.9%
計		250.0 ha 12,694 m	126,843	283.1 ha 17,369 m	181,055	142.7%	

出典：長野県長野地域振興局調べ

注：事業種ごとに千円未満を四捨五入したため各事業種の合計と計は一致しない

【管内民有林における主伐・再造林の推移】

(単位：ha)

区 分	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
主 伐	81	65	65	76	73	49	46	集計中	—	—	—
再造林	目標						18.8	23.1	27.4	31.7	36.0
	実績	3	2	3	7	14.5	6.3	24.3	26.9	—	—
天然更新	64	58	58	65	60	33	37	集計中	—	—	—

出典：長野県長野地域振興局調べ

【森林経営計画認定状況】

(単位：ha)

区 分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
認 定 面 積	1,445	626	2,845	2,087	2,012	2,157	1,032	1,320
年度末有効面積	13,259	13,885	11,376	9,817	9,015	9,727	10,133	10,893
民有林カバー率	16.3%	17.1%	14.0%	12.1%	11.1%	11.9%	12.5%	13.4%

注1 「認定面積」は年度中に認定された面積、「当該年度有効面積」は年度末時点の認定有効面積

2 県知事認定の計画(県営林、林業公社等)は含まない。

(2) 山地災害対策

ア 山地災害危険地区の設定状況

- ☐ 管内で山腹崩壊等の危険地区が1,308箇所設定されており、県全体の18%を占め、うち地すべり危険地区は184箇所県全体の48%を占めている。
- ☐ 近年、局所的な豪雨等による山腹崩壊等が分散的・多発化しており、これまで以上に中山間地域の集落単位での防災意識の高揚が必要となっている。

【民有林における山地災害危険地区の設定状況(R7.1.1時点)】

(単位：箇所)

区 分	長野市	千曲市	須坂市	坂城町	小布施町	高山村	信濃町	飯綱町	小川村	小 計	県全計
山腹崩壊	251	68	78	28	5	44	4	6	40	524	3,276
崩壊土砂流出	399	53	22	20		20	4	14	68	600	3,653
地すべり	154	3				6	1	3	17	184	386
計	804	124	100	48	5	70	9	23	125	1,308	7,315

出典：長野県林務部調べ（令和7年1月現在）

イ 事業の実施状況

- 被害状況の調査をもとに、市町村や地域の要望を踏まえ、国の補助制度を活用した山地治山総合対策や県単治山事業等を計画的に実施している。

【山地災害対策関連事業の実績及び計画】

(単位：千円)

予算 区分	区 分		令和 6 年度 (実績)		令和 7 年度 (計画)		前年 対比 (B/A)
			箇所 数	事業費 (A)	箇所 数	事業費 (B)	
補 助	山地治山総合対策	復旧治山	3	142,483	5	263,306	185%
		緊急総合治山	2	82,000			0%
		緊急総合地すべり防止	2	22,583	2	58,065	257%
		地すべり防止	1	19,110			0%
		保安林整備	2	7,199	1	1,958	27%
交付金	治山事業	予防治山	3	74,107	8	227,110	306%
小 計			13	347,482	16	550,439	158%
災害	災害関連緊急治山		1	35,959			0%
公 共 計			14	383,441	16	550,439	144%
県単治山事業			15	65,431	7	29,051	44%
合 計			29	448,872	23	579,490	129%

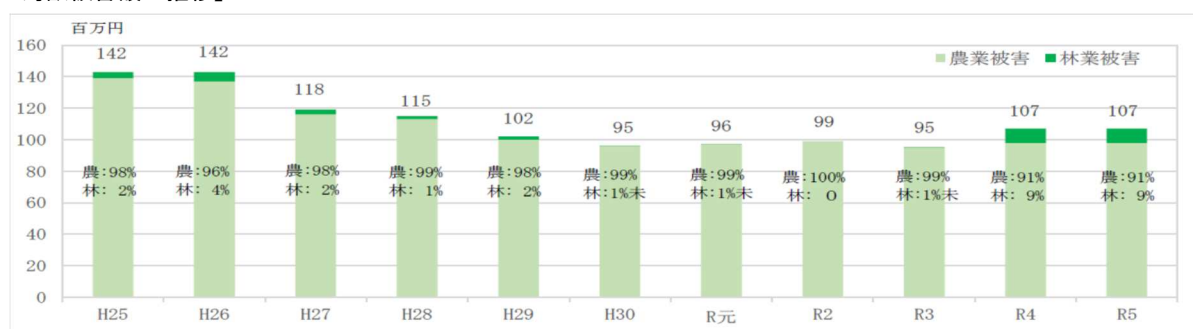
出展：長野県林務部調べ（令和7年4月現在）

(3) 野生鳥獣被害対策

ア 野生鳥獣被害の状況

- 農林業被害は1億7百万円で平成24年度の1億4千5百万円と比べ、74%と減少傾向にあるものの、ニホンジカやイノシシの被害区域はこれまで被害のなかった地域に拡大している。
- 農業被害のうち果樹被害が深刻な課題であり、これまでカラス等の鳥類やイノシシ、ハクビシンによる獣類の被害が多くみられたが、令和5年からはツキノワグマによる農業被害が多発した。

【野生鳥獣被害額の推移】



出典：長野県林務部「野生鳥獣による林業被害調査」及び農政部「野生鳥獣による農作物の被害状況調査」

イ 被害対策の実施状況

- ☐ 市町村の要望に基づき、捕獲対策・担い手対策・侵入防止柵・緩衝帯整備を組み合わせ実施している。
- ☐ ニホンジカの捕獲数が伸びており、捕獲範囲も被害に連動して拡大している。

【補助事業の実績と計画】

(単位：千円 %)

区 分		令和5年度実績			令和6年度実績			前年度比 (補助)
		市町村数	事業費	補助金額	市町村数	事業費	補助金額	
鳥獣被害 防止総合 対策交付 金事業	緊急捕獲（個体数調整）	9	46,963	22,286	9	40,603	20,002	89.8
	シカ特別（シカ個体数調整）	—	—	—	1	6,512	3,000	皆増
	総合支援（ジビエ振興）	1	5,891	5,210	1	2,002	2,000	38.4
野生鳥獣 対策事業	国庫（わな購入）	3	1,512	729	2	506	252	34.6
	県単（放獣）	9	6,563	1,976	1	6,236	1,860	94.1
合 計		9	60,929	30,201	9	55,859	27,114	89.8

出典：長野県長野地域振興局調べ

【主要な野生鳥獣の捕獲数の推移】

(単位：頭、羽)

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
ツキノワグマ	26	138	27	43	44	44	69	82	59	50	82
イノシシ	1,571	1,574	1,233	1,544	1,776	1,684	2,258	1,090	968	1,204	1,563
ニホンジカ	822	1,081	983	1,116	1,283	1,370	1,731	2,237	2,512	2,438	2,517
ハクビシン	385	424	388	429	466	460	573	614	485	512	438
カラス	1,302	1,283	1,097	1,142	988	297	1,506	782	610	942	401

出典：長野県林務部「鳥獣関係統計報告（環境省）」（許可捕獲、狩猟）

(4) 松くい虫被害対策

ア 被害状況

- ☐ 被害対策の実施により、近年の被害量は6～7千m³で推移していたが、令和6年度は、長野市、千曲市、坂城町で被害量が増加している。

【松くい虫被害量の推移】

(単位：m³、%)

区 分	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
長野地域	6,825	6,725	5,613	7,462	7,925	7,946	6,390	7,003	7,921	12,426
長野県	77,008	73,085	74,049	71,996	70,440	64,022	51,443	53,949	55,280	60,015
割 合	8.8	9.2	7.5	10.3	11.2	12.4	12.4	12.9	14.3	20.7

出典：長野県林務部「林業統計書」、「松くい虫被害木調査報告書」

イ 被害対策の状況

□ 市町村が行う被害木の除去や空中薬剤散布等の取組を支援している。

【松くい虫防除対策事業の実績と計画(要望)】

(単位:千円、%)

区 分		令和 6 年度実績		令和 7 年度要望		前年比 (B/A)
		事業量	事業費(A)	事業量	事業費(B)	
松林健全化 推進事業	特別防除(空中薬剤散布)	25.00ha	1,344	25.00ha	1,402	104.3%
	地上薬剤散布	12.35ha	1,758	17.87ha	2,544	144.7%
	無人ヘリコプター散布	4.50ha	524	4.50ha	886	169.0%
	薬剤防除安全確認調査	32 検体	1,814	32 検体	1,970	108.5%
	伐倒駆除	520 m ³	16,521	35 m ³	1,043	6.3%
	小 計		21,961		7,845	35.7%
保全松林緊急 保護整備事業	衛生伐(伐倒くん蒸)	3,550 m ³	115,238	2,454 m ³	105,742	91.7%
	小 計		115,238		105,742	91.7%
市町村森林整備 支援事業(森林税)	枯損木利活用	90 m ³	3,742	70 m ³	2,500	66.8%
	森林外被害木処理	11 m ³	956	10 m ³	736	76.9%
	小 計		4,698		3,236	68.8%
計			141,897		116,823	82.3%

出典:長野県長野地域振興局調べ

2 創造的で強靱な産業の発展を支援する森林づくり

(1) 林業・木材産業等の状況

- 林業従事者数の推移をみると、令和 5 年には 172 人で 10 年前と比較して△40.3%となっている。
- 高性能林業機械の導入状況は、管内の林業事業体に令和 6 年度には 2 台配備された。
- 路網整備の状況は、令和 6 年度に 18 箇所で開催等に取り組み、着実に延伸している。
- 適正な主伐の実施に向け、長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく災害リスクの低減や伐採届等の手続き等を確実に履行させるため、事業体に対する的確な指導を行うとともに、苗木の安定確保に取り組むことが重要である。
- 森林所有者が自ら管理できない森林に関して、森林経営管理制度を適用させていくためには、市町村が担う森林所有者の意向把握への支援も課題である。

【長野管内の林業事業体・林業従事者数の推移】

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
事業体数	18	19	19	16	17	15	14	14	17	17
従事者数(人)	288	194	192	177	163	158	148	152	173	172

出典:長野県林務部「林業事業体等の調査(R6調査)」

【高性能林業機械の導入実績】

(金額単位:千円)

区 分	事業主体	令和 5 年度実績		令和 6 年度実績	
		事業内容	補助金額	事業内容	補助金額
高性能林業 機械導入推 進事業	長野森林組合	フォワーダ 1 台	7,185	フォワーダ 1 台	4,284
	北信木材生産セ ンター協同組合	ウインチ付き グラブ 1 台	6,088	ハーベスタ 1 台	14,650
		フォワーダ 1 台	7,483		
計		3 台	20,756	2 台	18,934

出典:長野県林務部調べ

【林道事業の実績及び計画】

(単位：千円)

事業 区分	事業名	路線名	令和6年度実績		令和7年度計画	
			延長	事業費	延長	事業費
県営	開設事業	信濃町 古海（支）線	140	30,000	620	23,900
	小 計		140	30,000	620	23,900
補助	開設事業	—	—	—	—	—
	改良事業	長野市 大川線	94	38,400	85	37,800
		千曲市 芝平樽滝線	—	—	36	41,920
		千曲市 測量委託(3路線)	—	—	3箇所(300)	2,093
	点検診断	長野市 大川線	1箇所(230)	4,400	1箇所(50)	4,200
		小川村 上和桐山・李平	—	—	3箇所(29)	1,380
	保全整備	須坂市 米子不動線	—	—	1箇所(13)	3,300
	P C B	須坂市 米子不動線	1箇所(13)	16,200	—	—
	小 計		94	59,000	121	90,693
災害	林道施設災 害復旧事業	千曲市（1路線1箇所）	—	—	206	13,798
		高山村（1路線1箇所）	—	—	44	6,787
		小川村（1路線1箇所）	24	12,221	—	—
	小 計		24	12,221	250	20,585
合 計			258	101,221	991	135,178

出典：長野県林務部調べ

注1 事業費は、前年度からの繰越額及び年度内支払額としている。

2 令和7年度計画額は令和7年度実施予定事業費と令和6年度から繰越事業費としている。

3 災害の事業費は補助対象額とする。

4 PCB…林道橋梁におけるPCB（ポリ塩化ビフェニル）濃度分析

【森林作業道（森林整備に伴うもの）の開設実績及び計画】

(単位：路線、千円)

事業名	令和6年度実績			令和7年度計画		
	路線数	延長	事業費	路線数	延長	事業費
信州の森林づくり事業	16	17,661	36,076	20	19,761	40,149
自 力	調査中			調査中		
計	16	17,661	36,076	20	19,761	40,149

出典：長野県林務部調べ

(2) 木材産業の状況

- 木材価格の推移をみると、スギの中丸太(径24～28cm)は令和7年3月時点で13,900円/㎡で平成27年度の年平均9,800円/㎡を底値に近年は横ばいとなっている。
- 長野県が独自に行っている素材生産量の調査によると、長野管内では令和5年が6.6万㎡で、平成30年(5年前)の77.3%となっている。
- 長野管内でも合板需要に的確に対応しつつ、スギ大径材の建築用材利用をはじめ、土木用材や木質バイオマス利用まで幅広い需要開拓が必要であるとともに、地域の林業・林産業の関係者が連携し、木材需要の的確な把握と素材の安定供給との需給調整を行っていく体制づくりが必要である。

【木材価格の推移】

(単位：円/㎡)

区 分	H17	H22	H27	R2	R3	R4	R5	R6	R7.3月
スギ	14,300	11,500	9,800	10,400	14,000	16,000	14,400	14,300	13,900
ヒノキ	25,500	21,100	15,300	13,400	22,000	23,000	17,500	18,500	20,500
アカマツ	10,400	7,800	9,200	8,800	11,300	14,500	13,400	12,800	12,800
カラマツ	13,400	12,700	12,800	14,300	17,000	21,800	20,300	20,800	19,800

出典：長野県林務部「長野県の木材価格」から抜粋

【長野管内の素材生産量の推移】

(単位：m³)

区 分	H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5/H25	R5/H30
国有林	17,463	31,089	32,738	20,022	28,109	25,775	27,669	158.4%	89.0%
民有林	49,399	54,772	50,214	46,873	37,543	35,113	38,723	78.4%	70.7%
計	66,862	85,861	82,952	66,895	65,652	60,888	66,392	99.3%	77.3%

出典：長野県木材統計（1月～12月）

【木材生産額】

区 分 種別		生 産 量		生産額（推計）	
			前年比（％）	（千円）	前年比（％）
木材	一 般 用 材 等	66,392 m³	109.0	956,045	98.1
	し い た け 原 木	6.0 千本	85.7	1,678	85.6
	計	—	—		

出典：長野県木材統計（1月～12月）をもとに推計

(3) 特用林産物

- なめこが全体の約9割を占める。令和5年はまつたけが不作だった。

【特用林産物の生産動向】

(単位：t、千円、%)

種別		区 分	生 産 量		生 産 額（推 計）	
			前年比		前年比	
特 用 林 産 物	生 し い た け	15.3	82.7	15,458	74.1	
	な め こ	1,614.5	105.5	649,185	104.2	
	ま つ た け	0.003	1.5	80	12.1	
	木 炭	341.1	74.7	17,488	86.5	
	山 菜	5.6	64.4	4,116	80.3	
	そ の 他	—	—	53	187.2	
	計	—	—	686,380	98.2	

出典：長野県林務部「R5 特用林産物生産統計調査(R5 年1月～12月)」

3 快適でゆとりのある社会生活を創造する森林づくり

(1) 森林づくり県民税等を活用した施策の取組状況

- 県民等が里山の森林に親しむことができるよう、開かれた里山整備事業により地域住民等による里山整備や利活用活動を支援した。
- ライフライン沿線等の支障木伐採や観光地の景観整備、野生鳥獣被害対策のための緩衝帯整備等の市町村からの要望の高い取組をメニュー化して支援した。

【開かれた里山等関係事業】

(単位：千円)

区 分		令和5年度実績		令和6年度実績		備 考
		箇所数	補助金額	箇所数	補助金額	
里山整備利用地域活動推進事業	開かれた里山	1 地区	503	2 地区	1,271	七二会 2 富が原
	一 般	5 地区	2,680	4 地区	1,252	
里山資源利活用推進事業	開かれた里山	—	—	2 地区	335	七二会 2 富が原
	一 般	2 地区	514	2 地区	573	
計		6 地区	3,697	6 地区	3,431	

【里山整備利用地域の認定状況】

(単位: ha)

認定年度	市町村	地域名	中心となる集落名	面積	活動主体の名称
H30	須坂市	離山	豊丘	3	離山を守る会
	長野市	七二会	坪根(滝谷)	108	NPO 法人信州フォレストワーク
	須坂市	臥竜公園	小山、南原、北原	16	臥竜公園里山整備利用推進協議会
	須坂市	塩野	塩野	63	塩野地区利用推進協議会
	長野市	浅川	台ヶ窪	112	あさかわの里山と森を守る会
	坂城町	上平	上平	446	上平森林協働整備協議会
	長野市	戸隠豊岡	豊岡	58	戸隠森林整備クラブ
R 元	信濃町	柏原上ノ原	上ノ原	21	日中友好の森林づくり推進協議会
	長野市	七二会 2	論地	5	七二会里山整備利用推進協議会
	信濃町	富が原	富が原	172	富が原里山整備利用推進協議会
R 2	坂城町	中之条	中之条	371	中之条区里山整備協議会
	須坂市	井上	井上	15	井上城址さくらの会
R 3	千曲市	小坂山	桑原小坂、稻荷山元町	37	千曲市川西地区振興連絡協議会里山整備部会
R 4	長野市	信州新町信級	信級	824	信級きぼうの森
	千曲市	一重山	屋代	13	一重山みらい会議
R 5	長野市	七二会 3	平出	190	七二会森林クラブ
	千曲市	猿ヶ馬場峠	八幡(中原区)	99	八幡地区里山整備委員会
R 6	信濃町	富が原	大井	172	富が原里山整備利用地域
	千曲市	一重山	屋代	13	一重山みらい会議

出典: 長野県長野地域振興局調べ

【市町村森林整備支援事業一覧】

(単位: 千円)

区分	事業の種類	R 6実績			R 7計画		
		面積等	事業費	補助金	面積等	事業費	補助金
長野市	観光地等の景観整備	123 本	3,463	3,116	1.2ha	2,772	2,494
	緩衝帯の整備	4.30ha	3,584	3,224	3.80ha	4,600	4,140
	計		7,047	6,340		7,372	6,634
須坂市	緩衝帯の整備	1.75ha	4,463	4,016	1.00ha	3,000	2,700
	森林外被害木処理	2 m ³	474	200	5 m ³	500	250
	計		4,937	4,216		3,500	2,950
千曲市	観光地等の景観整備	0.1ha	2,094	1,692	0.2ha	1,800	1,620
	ライフライン等の保全対策				25 本	1,860	1,674
	計		2,094	1,692		3,660	3,294
坂城町	枯損木利活用	72 m ³	2,572	2,250	70 m ³		2,250
高山村	森林外被害木処理	5 m ³	242	121	5 m ³	236	118
	緩衝帯整理	1.5ha	566	509	2.0ha	1,200	1,080
	計		1,050	751		1,436	1,198
信濃町	枯損木利活用	18 m ³	1,170	1,053			
飯綱町	ライフライン等の保全対策	32 本	1,050	940	70 本	3,300	2,970
	観光地等の景観整備				0.2ha	2,600	2,340
	計		1,050	940		5,900	5,310
小川村	ライフライン等の保全対策	22 本	1,700	1,260	27 本	1,450	1,305
合 計			21,620	18,502		25,818	22,941

※R 7計画は、R 7. 2月時点の要望額である。

(2) 森林の多面的利用の取組状況

- 県民に対する森林・林業に関する知識・技術の普及や森林レクリエーションを体験する場として戸隠森林植物園と森林学習館の管理を行っている。
- 健康や教育、観光等の他分野で森林空間を活用する取組として、信濃町が取り組む修景伐採や歩道等の整備等を支援した。
- 学校等を活用した森林環境教育を行う学校や団体に対し、森林整備や森林環境教育に必要な資機材の導入等を支援した。

【戸隠森林植物園・森林学習館の利用実績】

(単位：人)

区 分	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
森林植物園	132,213	109,459	30,790	43,715	87,990	110,087	114,070
森林学習館	14,583	14,259	6,590	7,150	9,500	8,565	9,272

区 分	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
森林植物園	141,597	132,213	109,459	30,790	43,715	87,990	110,087
森林学習館	17,612	14,583	14,259	6,590	7,150	9,500	8,565

出典：長野県長野地域振興局調べ

【森林サービス産業活動支援事業】

(金額単位：千円)

区 分		R 5 実績	R 6 実績	備考
森林セラピー基地等 施設整備支援事業	市町村数	1	1	信濃町
	補助金額	2,842	800	

出典：長野県長野地域振興局調べ

【学びと育ちの森づくり推進事業】

(金額単位：千円)

区 分		R 5 実績	R 6 実績	備考
森林環境教育フィールド の整備（県立学校以外）	対象件数	5	5	
	補助金額	521	987	
指導者の派遣及び資機材 の導入（県立学校以外）	対象件数	5	5	
	補助金額	344	336	
学校林の整備支援 （県立学校）	対象件数	0	1	予算配当
	事業費	0	3,000	
計	金 額	865	4,323	

出典：長野県長野地域振興局調べ

(3) みどりの少年団活動等

- 県下で最も団数が多く、小中学校を併せて 52 団が活動している。
- こどもたちが森林に触れる機会を創出するため、学校林の整備や指導者の派遣等により支援を行っている。

【みどりの少年団の設立状況（令和 7 年 4 月現在）】

区 分	設 立 年 度	設立団数	対象学年	団 員 数
小 学 校	昭和 55 年度～令和 4 年度	42 団	1～6 年生	8,094 人
中 学 校	昭和 61 年度～令和 4 年度	10 団	1～3 年生	1,805 人
計		52 団		9,899 人

出典：長野県長野地域振興局調べ

注 信濃町立信濃小中学校のみどりの少年団は小学校の区分に含めている。

Ⅲ 地域の森林・林業の主要・懸案事項

1 野生鳥獣被害対策の地域一体となった取組の強化

(1) ツキノワグマ対応

(単位：件)

区 分		H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
管内	目撃	157	106	100	71	140	160	202	171	98	145	153
県内	目撃	1,575	582	786	600	749	1,332	1,437	1,059	770	1,401	1,428
	人身	31	6	9	6	5	8	12	16	8	11	12

- 県(局)・市町村・地域・猟友会が一体となり、防護柵設置や緩衝帯整備、廃果除去等環境整備、捕獲対策等を組み合わせ、地域の実情に応じた取組を展開。
- 5月9日から長野地域に出没注意報を発出(6月30日まで)、出没多発地域でクマ対策員等による集中点検を実施。

(2) ニホンザル対応

- 須高地区・小川村で被害が発生、県環境保全研究所と連携し被害対策を展開し、被害が軽減、持続的に対策を実施。

2 県産材の利用促進

- 「信州の森林と環境を守る県産材利用促進条例」(令和7年長野県条例第4号)を基に、長野地域における公共の建築物・土木工事等における県産材の利用促進に向けた具体的な取組を検討。
- 課内に検討組織を設置、関係部署と連携し、条例の勉強会や施設整備計画等への営業、管内の木材流通構造の分析等による県産材の供給体制の課題抽出等を実施。

(単位：千m³)

素材生産量	H25	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R5/R4
計	66,862	85,861	82,952	66,895	65,652	60,888	66,392	109%
国有林	17,463	31,089	32,738	20,022	28,109	25,775	27,669	107%
民有林	49,399	54,772	50,214	46,873	37,543	35,113	38,723	110%

3 長野地域の森林・林業の活性化に向けた主要課題への対応

(1) 野生鳥獣出沒への対応

昨年度、大量出沒したツキノワグマをはじめとする野生鳥獣被害に的確に対応するため、出沒繁忙期を中心に休祝日を含めた連絡待機体制を構築する。

(2) 県産材の利用促進

「信州の森林と環境を守る県産材利用促進条例」の取組の具体化を進めるための今後の計画等の作成を検討する。

(3) 古海県有林の木材生産計画作成

「県民に開かれた県有林」を目指し、本年度完了予定の林業専用道を活用して古海県有林の木材生産を計画的に行い、県有林としての木材生産の模範的かつ実験的な取組を進める。

(4) 地すべり地域における事業の検証

経過観察を継続している地すべり事業案件に関し、今後の対応について検討する。

(5) 地域担当制の強化

ア 趣旨

現地機関の重要な役割の一つである市町村への支援を強化することで対話と共創を具現化するため、従来から個別の業務単位に割り振っていた各係の地域担当を横断的に再編成し、管内の4つの地域で共通する課題等にきめ細かく対応し、「地域から必要とされる林務課」を目指す。

イ 地域担当の班編成

班	担 当 地 域
東	旧長野市(若穂)・須坂市・高山村・小布施町
北	旧長野市(東・南・西班を除く)・飯綱町・信濃町
南	旧長野市(川中島・松代・篠ノ井)・千曲市・坂城町
西	旧長野市(信更・七二会)・長野市(中条・大岡・信州新町)・小川村



ウ 令和7年度の主な活動(予定)

◎共通テーマ：各市町村の実務者レベルの懇談及び課題検討

① 東班

☐ ニホンザルの被害対策協力

② 北班

☐ 長野地域森林祭(植樹祭)業務協力

③ 南班

☐ ツキノワグマ対策の支援

④ 西班

☐ 地すべり地域における山地災害対策業務の技術支援

